

# 例会報告

第2565回例会報告議事録

日時 31年4月9日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト：なし

ビジター：なし

S.A.A.: 倉持会員

## 会長挨拶

荒井会長

二週間振りの例会なので懐かしい感じがします。

我がクラブの今井会員が先日の千葉県議会選挙において四期目の当選を果たしました。おめでとうございます。これからも我孫子市のために頑張ってくださいと思います。

私事ですが、一昨日に娘の成人式の前撮りに家族全員で行って参りました。家族の写真が終わった時に、サプライズで娘から父親への感謝状をもらったのですが、それを読み上げている時にとっても感激してしまい涙があふれてしまいました。親の欲目ですけれども、とてもきれいな娘でした。素晴らしい一日でした。

## 当選のお礼の言葉

今井会員



貴重な例会の時間をいただきまして、お礼の言葉を述べさせていただきたいと思います。

4月7日の千葉県議会選挙におきまして私、今井勝、4度目の当選をさせていただきました。本当にありがとうございました。

これから四期目でございますけれども、これまでも増して、千葉県と我孫子市のために尽力するつもりでございます。これからも是非皆様方の暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



先ほど、事務局から教えていただいたのですが、3月6日が私の45周年の結婚記念日だったようで、選挙で忙しくて忘れてまして、これから家に帰って、家内にどうやって説明しようかなと思っております。お祝いをいただきましてありがとうございます。重ねて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## 新入会員認証式



荒井会長より古谷野妙子様へ  
バッジと4つのテストとロータリーソングのCD授与



### ご挨拶 古谷野妙子会員

この度、当クラブに入会させていただくことができ、非常に非常に光栄に思っております。

この話を医師会の佐藤先生の方から伺った時に本当に私なんかでよろしいのかと思いましたが、この場に立たせていただいて、お受けして本当によかったなと思っています。

というのは、1959年生まれで今年、還暦を迎えます。人生の節目の時において、医療とは違った場面で何か地域貢献、社会貢献をしたいなと思っておりました。このように、他業種の方達と知り合う、交流する機会ができたということは、私の人生において、またとない幸運だと思っております。

今後、皆様からご教示いただくことを非常に楽しみにしております。よろしくお願い致します。

3月に藤本会員のお誕生日をお祝いできなかったので、本日お祝いさせて頂きたいと思います。藤本会員、お誕生日おめでとうございます。瀧日会員、結婚60周年、おめでとうございます。



#### 藤本会員より

先月ちょっと休みがちで皆様にご面倒をおかけしました。3月16日で55歳になりました。このクラブに入ってから3度目のバースデーを皆様に祝っていただきまして、ありがとうございます。この会に入りまして、この一年間で印象に残ったことがあります。年明けにお客様より文京区の本駒込6丁目、大和郷という豪邸街の土地がほしいという依頼がありました。で、私、ぐるぐる回っておりまして、ある一画で上場企業が売りに出している土地があることを知り、その会社に連絡しました。

翌日の火曜日、ロータリーの例会の帰りにロータリーのバッジをしたまま、その上場企業の常務の方に会いました。その方が開口一番、バッジを見て「藤本さん、ロータリアンなんですね」ということから話が盛り上がりました。上場企業さんは極々内々に信託銀行とかに依頼して買い主さんを見つけるつもりだったところに、我孫子のちっぼけな不動産業者が飛び込みで来た訳なのですが、ロータリーのバッジをもって、そこから話が溶け込み、おかげさまで成約となり、来月決済を迎えることになりました。これもロータリーという強力なバッジのおかげだったのかなと思いました。

先週、甲府のプロジェクトが終わりまして、甲府で泊まっているホテルがちょうどロータリーの例会場で、バッジをしておりましたら甲府の方の夜間例会に誘っていただき、飛び入り参加させていただきました。とりとめのない話でごめんなさい。ありがとうございました。



#### 瀧日会員より

結婚記念日のお祝いをありがとうございました。60周年です。今ちょうど新聞紙上に天皇陛下ご夫妻の60周年のご成婚の記事が載っています。天皇ご夫妻は4月10日、私は4月13日です。早稲田の大隈講堂の隣の大隈会館で結婚式を挙げたのですが、実は結婚式を決める時、はじめ4月10日を予定していました。ご成婚と言う話が出てきて、急遽13日に変更しました。変更してよかったです。大変なお祭り騒ぎの時に結婚式を挙げていたらどうなっていたんだろうと思います。

60年はダイヤモンド式だそうです。うちのかみさんはまだ気がついてないです。これは秘密にしておいた方がいいのか(笑)。

子ども達も銀婚式、金婚式はやってくれましたが、さすがに60周年になると意識が飛んでいるようです。さあ、わたしはこれからどうしたらいいんだろうと今、悩んでおります。

ありがとうございました。

## 出席報告

関根副委員長

29名(出席免除者含む) 出席(全員で31名) 出席率93.54%

業務による欠席が1名。

業務の為: 石原会員

## 地区研修協議会について

木村会長エレクト

4月20日(土)に地区研修協議会があります。次年度の各委員長の方にご出席をお願いしておりますが、行く行程等詳細が決まりましたらご連絡させていただきます。宜しくお願いします。

## 幹事報告

依田幹事

・来週の例会は休会となり、2790地区第11グループの合同例会となります。

4月17日(水) 6時点鐘で場所はクレストホテル柏です。現在、登録者は17名ですが、まだ他に来られる方がいらっしゃいましたら、事務局までお申し出ください。



昨年の11月に70歳になりました。自分の人生を振り返ると、いろんなことがありました。どういうことがあったのかを、今日皆さんにお話したいと思います。

私は、京都の亀岡市で生まれています。私の父は滋賀県の大津の出身で4人兄弟の長男です。父の父は、京都の大谷金庫という会社の役員でした。母は京都市内の堀川通りの自転車屋の一人娘でした。母は、高等女学校を出て、その後女子専門学校で学んだということで、当時としては十分な高等教育を受けたようです。卒業後は、京都市内の陸軍の施設で働いていたそうで、東条英機が京都に来た折に、取れた軍服のボタンをつけ直したことがあるとっていました。

私には、2歳上の兄と2歳下の妹がいます。私が幼稚園の頃には、両親は不仲となり、別居していて、私たち兄弟3人は、京都の伏見稻荷のすぐ近くの長屋で父と暮らしていました。父は、その頃子供3人の面倒を見ながら日雇いの土方の仕事をしていました。長屋は玄関から奥まで土間が続き、6畳くらいの畳の部屋が二間あるだけの粗末な家でした。食事は土間にある釜でご飯を炊き、七輪で調理していたように思いますが、何を食べていたのかまったく記憶がありません。

小学1年生の夏休みに、母がわれわれを引き取ることになり、母と一緒に石川県の山中温泉へ行くことになりました。母は、その頃、山中温泉の旅館の住み込みの仲居をしていました。家がないので、われわれ3人は、山中小学校の近くの民家に寄宿することになりました。古い大きな住宅の6畳くらいの一部屋で3人が寝起きする生活です。食事はその家のばあさんが作ったものを食べていました。

母に会いたくなってきたときは、母が働く旅館へ会いに行きました。旅館の玄関に入ると下足番のおじさんが、すぐに母を呼んできてくれました。ときどき一緒に本屋へ行って、本を買ってもらうのが楽しみでした。山中にいるときに、父が一度だけ会いに来ました。それが父との最後の別れになるとは、当時はわかりませんでした。

寄宿生活は2年ほど続きました。小学3年の5月の終わり頃に、母がわれわれを迎えに来ました。児童相談所に連れて行かれて、その日のうちに、3人とも片山津にある児童養護施設に入所することになりました。1週間後に母が面会に来ましたが、兄は『こんなとこはいやや』と、押入れの布団に顔を押しつけて泣きました。

この施設で、どういう生活をしていたのか、記憶はほとんどありません。上級生からいじめられたこともほとんどありません。ただ若い職員の体罰はすごかったです。夕食のときに、『無断外出したものは前に出てこい。』と言って、無断外出したものを一列に並ばせて、ピンタをはります。身体がよるめくほど“ピシッ”と思いきり叩かれます。人権などないに等しい扱いでした。

私と兄は、ある日、事件を起こしてしまいました。入所した翌年の1学期の終業式の日のことです。学校から帰って、昼食を食べて、施設の庭で兄とキャッチボールをしていたところ、球がそれで上級生に当たってしまいました。上級生から二人とも頭を殴られました。明日から夏休みという気楽さもあって、兄と、『こんなとこいややな、母ちゃんのところに行こうか。』ということで、二人で施設を脱走することにしました。

そのとき、母は山中ではなく、金沢に住んでいました。われわれを施設に預けると同時に、旅館の住み込みの仲居から、金沢の料亭の仲居に転職していたのです。施設に入った後、夏休みと冬休みに数日間ずつ金沢の母のアパートで過ごしたことがあり、アパートの場所は分かっていました。

当施設を抜け出して、片山津線の線路伝いに北陸本線の動橋という駅まで行き、その後は国道8号線をひたすら北上して金沢に向かいました。動橋から金沢までは40キロくらいです。暑い日で、喉が渇くと国道沿いの民家の水道の水を飲みました。国道脇の谷川の水も飲みました。歩きに歩いて、夜の9時頃に、金沢から10キロほど手前の松任という町に着きました。国道沿いの畑の中に小屋があるのを見つけて、行ってみると農機具をしまう小屋でした。その日は、その小屋で寝ました。翌朝起きて、金沢に向けてまた歩き始め、10時頃に母のアパートに着きました。

この脱走事件がきっかけで、その夏休みのうちに、金沢の養護施設に替わる事になりました。今度の施設は、保育園を併設したキリスト教の養護施設でした。80人くらいの児童が施設で暮らしていました。この施設では、『家』と呼ばれる文字通りの家で共同生活をします。私が入ることになった家は、小学2年生から中学3年生まで、10人位いました。和室2部屋と世話役の保母さんの部屋がありました。この施設では、毎朝保育園の講堂で礼拝を行います。賛美歌を歌い、クリスチャンの職員が聖書の一節を読み、その解説をします。その後、説教を聞いて、又賛美歌を歌います。礼拝が終わると、その足で食堂に行き、朝食をとります。朝食後は、それぞれの家に戻り学校に行く用意をして、施設の門のところに集まり、学校に行きます。

施設の職員は良い人が多かった印象があります。ただ、私が入った家では、上級生の暴力がひどかったです。施設の暮らしで、楽しい思い出はほとんどありません。着る物は、篤志家から寄付さ

れたものを着ていたようです。教科書は先輩からのお下がりです。運動会や遠足のときは、とろろこんぶをまぶしたおにぎりを2個持たされます。普通の家庭の子は、のり巻きやのりを巻いたおにぎりです。とろろこんぶのおにぎりを持って、同級生の輪の中に入っていき、勇気がわかず、運動会ときは、施設の子2、3人で、校舎にもたれて、おにぎりを食べました。そういう時は、遠くを眺めながら、『生まれてこなければ良かった。』と思うのです。50人いるクラスで施設の子は自分だけです。50人に一人の不運をつかんでしまった。自分ものを巻いたおにぎりを食べたい。いつか、のりを巻いたおにぎり人が人並みの暮らしの象徴のように思うようになりました。

施設では、中学を卒業すると就職します。私たち兄弟は、母がいたおかげで、高校進学道がありました。兄は、工業高校に進学しましたが、成績不振になり、2年生からは私立の高校に転校しました。妹も高校に行くとなれば私立に行くという状況でした。母の経済的負担を軽くするために、高校卒業の資格が取れて給料ももらえるということで、私は、少年自衛隊に行くことにしました。

横須賀にある陸上自衛隊の少年工科学校に入隊しました。しかしながら、体力勝負の世界についていけず、1年足らずで退職しました。10月に体力測定があって、その結果で体力測定何級という認定がなされます。『土嚢運搬』という種目があって、地面に置いた50キロの重さの土嚢を担いで50メートルを走るのですが、クラス40人の生徒中、土嚢を担げなかったのは自分ただ一人でした。これで自信喪失し、母の許しを得て12月に退職しました。

1年遅れで、高校に進学しました。金沢には、当時進学校といわれる高校が4校ありましたが、その4番目の高校に行くことになりました。

この高校では、1学年600人のうち100人くらいが国公立大学に進学します。兄は、高校3年生になってから勉強して、京都の大学に行きました、私も2年生になったとき、母に大学に行きたいと言ったところ、お金のかからないところなら良いということになりました。施設にいた子が大学に行けるとは夢のような話です。母は、地元の金沢大学に行くものと思っていたようですが、自分には心に期するものがありました。それは、金沢を出たいということです。施設にいて辛い体験や惨めな思いをした忌まわしいこの金沢を出て、新天地で暮らしたい。別れたままになっている父の消息も知りたい。そんな思いから兵庫県立の神戸商科大学という大学に行くことになりました。大学1年生になって間もなく、兄から連絡があり、神戸に叔父や祖母がいるから、案内してやるとのことでした。叔父は、父の一番下の弟でした。叔父は経済的に成功していて、それ以降、何くれとなく私の面倒を見てくれました。

大学を卒業して、損害保険会社に就職しました。大阪支店に配属になり、甲子園の会社の寮で暮らすことになりました。初任給をもらい、ついに人並みになることができました。人並みの次は一人前になることです。外形的には結婚するということですが、結婚というものに関しては二つの不安がありました。一つは、そもそも自分は結婚できるのだろうかという不安です。施設で、育ったような自分を選んでくれる女性が果たしているのだろうか？二つ目は首尾よく結婚できたとしても、家庭というものをほとんど知らない環境で、育った自分に、夫や父親としての務めができるのだろうかということです。そういう中で、今の家内が自分を選んでくれたことに今でも感謝しています。子供が2人いますが、子供達が成人になった後、二人に普通の家庭で、育ったと思うかと尋ねたことがあります。2人とも普通の家庭で育ったという返事だったので、ああ、自分は普通の父親としての務めが果たせたのかなと思ひ、安堵したことがあります。

結婚し、父親にもなった後、何となく心に穴が開いたような空疎な気持ちになりました。会社では中堅の営業マンになっていましたが、常々、仕事をやっていくうえで、法律の知識が必要だなということを感じていました。そこで、法律を勉強しようと思ひ、司法試験を目指して勉強しているグループに入れてもらうことにしました。毎週土曜日の午後、神戸駅の近くの教会に行き、民法を勉強することになりました。最初のメンバー5人中3人が司法試験に合格しました。メンバーから司法試験を受験するよう勧められ、一度だけ短答試験を受けましたが、不合格となりました。勉強を始めて1年半ほど経ったある日、睡眠不足から会社で倒れてしまいました。一晩入院して回復しましたが、いろいろ考えた末に、勉強をやめることにしました。法律を知りたいという所期の目的は達成していました。それから2年後の32歳のとき、宅建試験を受験しました。首尾よく合格したので、今度は司法書士試験を受けることにしました。1年半勉強して2回目の受験で合格しました。

父の消息についてですが、叔父が父と最後に会ったのは、昭和40年3月のことだそうで、私が高校に入学した年になります。その後は行方が知れず、結局、祖母が亡くなった後、昭和59年に、失踪宣告の手続きを行いました。

この続きは、又の機会にお話しします。

服部さん、卓話ありがとうございました。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
荒井会長	卓話ありがとうございました。	1,000円
今井会員	このたびの選挙におきまして皆様のおかげで当選させていただきました。ありがとうございます。 結婚祝45周年ありがとうございます。	10,000円
小野会員	古谷野先生ご入会おめでとうございます。	1,000円
上村会員	服部さん卓話ありがとうございます。	1,000円
小池会員	服部さん卓話ありがとうございました。	1,000円
塩毛会員	川村学園内の桜トンネルに乾杯！	1,000円
鈴木会員	服部さん幼い頃からの話をありがとう。	1,000円
瀧日会員	結婚記念祝を頂き有難うございました。	1,000円
服部会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
日暮会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
藤本会員	お祝いを頂きありがとうございました。	1,000円
村越会員	古谷野さん入会おめでとうございます。	1,000円
当日計		22,000円
今期累計		244,650円

今週の表紙「武者小路実篤邸・我孫子山荘」千葉県我孫子市船戸2丁目21番9号

白樺派の創始者として有名な武者小路実篤は、大正5年～7年(1916～18年)に我孫子に住んでいました。志賀直哉や柳宗悦等と交流し、ここで「大和武尊」「AとB」などを執筆しました。「新しき村」の建設を唱え、その発会式はこの邸内で行われました。

庭園は今も管理が行き届いており、当時の雰囲気そのままに伝えていきます。

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。